



衆議院議長 様
参議院議長 様

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！
2024年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

請 願 事 項

- 子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ権利を保障するため、教育予算を OECD 諸国並みに計画的に増やしてください。
- 義務・高校標準法を改正し、国の責任で、中学校、高校での 35 人以下学級を早期に実現してください。小学校も含めて少人数学級をさらに前進させてください。自治体独自の少人数学級が維持でき、欠員が生じないよう、十分な教職員を確保してください。幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
- 有期雇用ではなく、正規・専任の教職員を増員してください。
- 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - 高校・大学等の学費無償化や高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - 私学経常費助成補助の増額と高等学校等就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
 - 給食無償化を実現し、安全安心な給食を提供できるよう、自治体への財政支援を国の責任ですすめてください。
- 公立・私学ともに安全安心な環境のもとで学ぶことができるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - 特別支援学校の過大・過密解消のため、国による財政支援の拡充、学校新設や既存校へ「設置基準」適用をすすめてください。
 - 学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。
- 能登半島地震や東日本大震災などの自然災害、東京電力福島第一原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興を至急すすめてください。

名 前(フルネームで)	住 所 (番地までお書きください。「同上」や「#」はお控えください)

※上記個人情報は、国会へ提出する以外に使用しません。

広島県ゆきとどいた教育をすすめる会 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24-403 TEL(082)264-7850



広島県議会議長 様

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！
2024年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

請 願 事 項

- 必要とするすべての高校生・大学生に対する返済不要の「給付制奨学金」を整備・拡充するよう国に要請するとともに、県独自で返済不要の奨学金制度を整備・拡充してください。
- 教育予算を大幅に増額し、ゆきとどいた教育を実現してください。
 - 国の責任で小学校全学年 35 人以下学級を早期に実現するとともに中学校・高等学校へも早急に拡大するよう国に要請してください。当面、広島県独自措置での少人数学級を小学校全学年および中学校に拡充してください。
 - 過大・過密化した特別支援学校の分離・新設をすすめてください。また、特別支援学級の学級編制標準を6名以下とするよう改善してください。
 - 小・中学校、高等学校のすべての教室および災害時に避難場所となる体育館にエアコンを設置してください。
 - 「ICT 教育」推進のための端末機器およびその使用にかかる諸経費は、公費負担を原則とし、父母・保護者負担を軽減してください。また、「ICT 教育支援員」の増員を図り、条件整備を図ってください。
- 給食無償化を実現し、安全安心な給食を提供できるよう、自治体への財政支援をすすめるよう、国に要請してください。また、県独自の財政支援を実施してください。
- 病休・介護休・産育休等の代員が配置できないという「教育に穴があく」事態が起こらないよう代替制度を確立し、代員を速やかに配置してください。
- 保護者・住民合意のない小規模校の統廃合をやめ、「大規模校・40人学級」こそ見直し、「少人数学級」を実施してください。
- 高等学校の再編や統廃合をすすめるのではなく、地元の高校で安心して学べるように、学校を存続させてください。希望するすべての生徒を受け入れる高校制度の実現に向けて、制度を確立させてください。

名 前(フルネームで)	住 所 (番地までお書きください。「同上」や「#」はお控えください)

※上記個人情報は、議会へ提出する以外に使用しません。

広島県ゆきとどいた教育をすすめる会 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24-403 TEL(082)264-7850

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！

2024年度 すべての子もたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

請 願 趣 旨

長引く物価高騰で貧困と格差はますます広がり、子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。長年の運動により、義務標準法改正により国の責任による小学校35人以下学級が前進しました。しかしOECD平均である20人程度の学級に比べ、学級規模は大きすぎます。国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を小・中学校や高校でさらにすすめるべきです。

しかし、広島県は依然として国の基準のままであり、独自措置で少人数学級を実施していない数少ない自治体の一つになっています。広島県独自措置での少人数学級の拡大を切に要望します。

小・中学校、高校、特別支援学校で、教員の未配置が起きている実態が明らかになっています。広島県内の学校現場でも、病気休暇や産前産後休暇、育児休業などの代替教職員が見つからない「教育に穴があく」状況が数か月続くなど、いっそう深刻です。代替教職員を確実に配置できる制度を確立し、速やかに配置することは緊急の課題です。

公立・私学ともに学費無償化をすすめることも急務です。高校や大学等での教育無償化を前進させるためにも、奨学金制度のさらなる拡充、高等学校等就学支援金制度の拡充など、国際人権A規約「無償教育の漸進的導入」を具体化し、子どもたちが安心して学べる教育条件の整備が求められています。また、父母・保護者の教育費の負担を軽減するためにも、給食無償化に向けた自治体への財政支援は急務です。

深刻化する物価高騰で保護者の教育費負担は深刻です。広島県では、タブレット端末機器およびそれにかかる諸経費は一部を除いて保護者負担です。全国では一部または全額を公費負担する自治体も増えている中、広島県でも公費による補助を切に要望します。

お金の心配なく、子どもたちが安心して学べる学校にするため、裏面のことをお願いします。

「広島県ゆきとどいた教育をすすめる会」は、広島県内の父母、労働組合、民主団体、教職員団体などが、教育条件整備の運動を共同でおこなうために結成しています。毎年、この「教育全国署名」に取り組むとともに、ゆきとどいた教育を求める教育集会やシンポジウムなどを開催しています。

事務局は、■公立関係(082)264-7850 ■私学関係(082)569-7759

広島県ゆきとどいた教育をすすめる会

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！

2024年度 すべての子もたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

請 願 趣 旨

長引く物価高騰で貧困と格差はますます広がり、子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。OECD平均である20人程度の学級に比べ、学級規模は大きすぎます。高等教育における私費負担割合もOECD平均の倍以上です。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、教育の無償化実現や20人学級を展望した少人数学級のさらなる前進、教職員の増員、養護教諭や学校栄養職員・栄養教諭等の配置拡充等のゆきとどいた教育条件整備が必要です。

小・中学校、高校、特別支援学校で、教職員の未配置が起きています。学校現場では病気休暇や産前産後休暇、育児休業などの代替教職員が見つからない「教育に穴があく」状況が数か月続くなど、いっそう深刻です。新年度の4月に教職員が足りず、担任が配置できない学校は各地で出ています。教職員の負担軽減をすすめるとともに、正規の教職員を増員することが求められています。あわせて、私立高校等経常費助成補助の大幅増額し、私学でも専任の教職員を増員できる条件整備をすることが必要です。

高校や大学等での教育無償化を実現するためにも、高等学校等就学支援金制度の拡充、給付奨学金制度のさらなる拡充など、国際人権A規約13条2項「無償教育の漸進的導入」を具体化し、子どもたちが安心して学べる教育条件整備を前進させるべきです。また、保護者の教育費の負担を軽減することが重要です。給食無償化は、給食の安全性を保った上で実現できる予算確保が必要です。

日本の「公財政教育支出の対GDP比(2020年)」は2.98%とOECD諸国の中で最低です。これをOECD諸国平均4.28%まで引き上げれば、小・中学校、高校までさらなる少人数学級の前進、公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能となります。

憲法と、批准30年を迎えた子どもの権利条約が生きて、輝く学校づくりをすすめるために、国の責任ですべての子もにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備が行われるよう、お願いします。

「広島県ゆきとどいた教育をすすめる会」は、広島県内の父母、労働組合、民主団体、教職員団体などが、教育条件整備の運動を共同でおこなうために結成しています。毎年、この「教育全国署名」に取り組むとともに、ゆきとどいた教育を願う教育集会やシンポジウムなどを開催しています。

事務局は、■公立関係(082)264-7850 ■私学関係(082)569-7759

広島県ゆきとどいた教育をすすめる会